

# 埼整 広報

第105号

2023年9月1日発行



高麗山 聖天院 勝楽寺の山門（日高市）

公益社団法人 埼玉県柔道整復師会

<http://www.saisetsu.or.jp>

# 目次

巻頭言	会長 大河原 晃	1
役員就任あいさつ		3
相談役・役員・各部 委員会・支部長		9
相談役	9	
役員	9	
支部長	10	
総務部	10	
財務部	11	
保険部	11	
事業部	11	
学術部	12	
広報部	12	
介護委員会	12	
災害対策委員会	13	
制度改革委員会	13	
新支部長就任あいさつ		14
<b>事業報告</b>		
令和5年度 定時総会		15
第46回埼整柔道大会		16
ほねつぎ技術講座「わたなべ塾」		17
<b>受章報告</b>		
春の褒章 藍綬褒章		18
日整 帰一功労賞		18
日整 帰一精錬賞		19
厚生労働大臣表彰		19
『柔整考学』…その6		20
さいせい堂書店		21
新入会員紹介（令和4年12月1日～令和5年6月30日入会）		22
本会会員分布図		23
表紙の説明		24
編集後記		24
柔整倫理綱領について		表3
広報部から		表3



# いま柔道整復師は

会長 大河原 晃



会員の皆様、日頃は本会の運営に対しご理解とご支援を頂き誠に有難うございます。

5月14日の総会において、会長に再任されました大河原晃です。宜しくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が確認されてから3年半が経過しました。未曾有の事態に見舞われたコロナ禍も、今年5月からは季節性インフルエンザ同様2類から5類に引き下げられたことで、安堵とともに日常生活にも活気が戻りつつあります。しかし、その一方でロシアによるウクライナ侵攻から1年半が経過し、まだまだ予断を許さない状況です。1日も早い終結を願ひ、平和な世界を取り戻したいものです。新型コロナウイルスのパンデミックに続きロシアのウクライナ侵攻により世界的なエネルギーの高騰と物価の上昇が引き起こされました。このような情勢の中、数年にわたり療養費も減少しており、我が業界が非常に厳しい状況に追い込まれているのも事実です。しっかりと対応して行く所存です。

いま、世界中に大きな衝撃が起きているのは、昨年11月にopen AI社が公開した対話型AI「チャットGPT」です。公開から2か月で世界の利用者は1億人を越えたといひます。「チャットGPT」の急速な進化と普及を受け、生成AI（人工知能）への期待と警戒感が同時に高まっています。民主主義の根幹となる人間の意思決定への影響も指摘され、世界に巨大な光と影をもたらす新技術に対し人類はどう向き合うべきか。今、AIと人の自然な「会話」は、ありふれた光景になりつつありますが、改めてテクノロジーの進化とその拡大の速さには驚きを感じざるを得ません。その一方で、偽情報の拡散や偏見の助長、サイバー犯罪への悪用といった弊害も指摘、議論されています。このインパクトは世界のリーダー達も無視できないほど拡大し、G7広島サミットでも「責任あるAI」の推進と、重要性を強調しているほどです。

さて、日本柔道整復師会も6月25日に総会が終わり、京都府の長尾淳彦氏が新会長となり新執行部が活動を始めました。課題が山積する中、大きな課題は3つ。失墜した信頼回復、療養費減少の歯止め、会員減少に伴う組織力の強化です。難題ばかりですが、その対策を考えてみたいと思ひます。

## 1. 失墜した信頼回復

- ・倫理規定の厳格化と監督体制の強化

柔道整復師の倫理規定を厳格化し、不正行為や違法行為を徹底的に取り締まると同時に、監督体制を強化して業界全体の信頼性を高める。

- ・透明性の確保と情報公開の促進

柔道整復師の活動や施術に関する情報を透明にし、患者様や関係者に対して積極的に情報を提供する。

- ・コミュニケーションを重視した患者様満足度の向上

柔道整復師が患者様とのコミュニケーションを重視し、患者様のニーズに合わせた施術やケアを提供することで、患者様満足度を向上させる。

## 2. 療養費減少の歯止め

- ・マーケティングと宣伝

広告や宣伝活動を積極的に行う。ローカルな広告やチラシ、看板を利用するだけでなく、インターネット上での広告やソーシャルメディアの活用も検討する。地域のスポーツイベントやコミュニティの活動に参加することも重要。

- ・サービスの拡充

新たなサービスを追加する事で、患者様のニーズに応じた多様なサービスを提供する。

- ・顧客ロイヤルティの向上

既存の患者様を大切にし、顧客ロイヤルティを高める取り組みを行う。丁寧なカウンセリングやコミュニケーション、予約のスムーズな管理、定期的なフォローアップなど、患者様の満足度を向上させる。

- ・提携や協力関係の構築

他の医療機関やスポーツ施設、フィットネスクラブなどとの提携や協力関係を構築する。相互の紹介や共同プロモーションを行うことで新たな患者様を獲得するチャンスを増やす。

- ・プロフェッショナルなスキルの向上

専門的なスキルや知識の向上を図り、患者様に対して高品質な施術やケアを提供する。

## 3. 会員減少に伴う組織力の強化

- ・若手柔道整復師の育成プログラムの充実化

若手柔道整復師の育成プログラムを充実させ、経験豊富なベテラン柔道整復師によるマンツーマンの指導や研修プログラムを提供する。

- ・柔道整復師の働き方改革の推進

柔軟な働き方や労働環境の改善を促進する事で、高齢の柔道整復師も活躍することができる。

- ・業界内の情報共有と連携強化

柔道整復師の情報共有や業界内の連携を強化し、組織力を高める。定期的な研修会や交流イベントの開催、情報プラットフォームの活用など、柔道整復師同士の協力と情報交換を促進する。

以上、ほんの一例ではありますが、すでに取り組んでいることもあります。少子高齢、人口減少そして人間の意思決定をも奪おうとしている生成AI、この時代背景は変えられません。次の100年を生きて行くためにも、上部団体にしっかりした意思決定が出来る「シンクタンク」を設置し方向性を模索していくこと、既存の大学の中に「無血センター」を作り骨折・脱臼施術の確かな拠点作りをして次世代に継承していくこと、「日本柔道整復接骨医学会」を充実させ資質の向上と柔道整復師業界をまとめていくこと、この3つが礎を再構築する上で非常に重要なポイントになると思います。

会員の皆様をはじめ、役員、事務局が三位一体になって出来ることから、ひとつずつ前進していきたいと思いますので、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げまして再任の挨拶とさせていただきます。

# 役員就任あいさつ

## 廓 清

### 副会長 渡辺 一民



令和5年5月14日、定時総会が開催され、会員の皆様のご協力により、予定通り進行され、総会前には諸事情を鑑み役員定数と再度一部役員手当の削減を実行したうえで選挙年総会が行われました。

個人的には5度目の副会長という要職に選んで頂いた皆様には謹んで御礼申し上げます。実のところ、選挙結果につきましては冷や冷やしましたが、元を正せば、常日頃から襟を正すことを口酸っぱく公言したり、今や超少数派の「ほねつぎ」を自任する正に斯界の中でも古い体質だと思われているのかもしれませんが。耳が痛い話ばかりをいう面倒くさい奴だ、と思われているのでしょうか。

しかし、皆さんご存じの通り、このところの斯界リーダーの国試漏洩事件からの役員逮捕や関連した役員の週刊誌報道からの不始末や内紛による悪影響は社会的に見ても非難の対象となることは誰の目から見ても明白です。このままでは偉大なる先人達が幾多の難難辛苦を乗り越え残してくれた素晴らしい保存療法の技術を後世に伝える術すら失いかねません。全て利得のみ追及する近年の斯界の考え方にあるように感じますし、最も大切にすべき柔整師としての「衿持」をはき違えたことに起因するのです。このまま手を拱いては「柔整療養費」を剥奪され、ひいては公益法人資格をも必要ない団体である、等の扱ひでもされたらそれこそ元も子もありません。

一方、わが健全なる埼玉社団では二期目を迎えた大河原晃会長の下、常に会員のために何ができるか？を役員皆日々模索しながら精力的に活動しております。コロナ5類変更後、9波襲来にも対応対処しながら、1つには人として日常の患者さんを大切に周りの人たちに信頼される柔整師であり、確かな施術管理者であること、2つに窮地に立たされている公益社団の立直しへと公私に亘り協力を惜しまず、活動の幅を拡げていかなければなりません。

今そこにある最大の危機を乗り越えるためには個人的な活動は限られますが、皆で力を合わせ、日々地道な努力を継続することでしか、失墜した信頼を取り戻す方法はありません。患者さんや社会からの信頼と業績の回復に向けてお互いに努力精進しましょう。

最後に、埼玉深谷生まれで前日も記した偉人の渋沢栄一もその著書の中で述べています。  
=…富をなすには第一に‘公益’を旨とし、人を虐げたり害を加えたり、欺くとか偽りをせぬことであり、その職に従い尽くすべきを尽くし、道理を誤らずに富を増すことができれば神聖なる富を初めて得たことになる。各人各業がこの域に達すればそこで廓清\*は得られたことになると。

※廓清とは「悪いものを取り除くこと」であり、リンパ節廓清等の医学用語でもある。

---

---

## 副会長 荻野 義之



会員の皆様におかれましては、日ごろ本会に対しましてご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

令和5年5月14日、本会館で行われました定時総会役員選挙において、会員皆様よりご支援を頂き理事に再度就任いたしました。

また、当日の臨時理事会に於いて副会長に就任し、その重責に身の引き締まる思いでいっぱいです。

今の柔道整復師業界、昨年から日整会長解任、副会長による国家試験漏洩問題に加え都柔整の問題と我々柔整師の信用を失うことが続き、行政・保険者から拒まれる状況になり信頼回復に日整は力を入れると聞いている中、年度が替わり都柔整では、6月の総会で現職理事1人以外は役員総入れ替えになりました。裏で糸を引いている人はいないと思いますが、是非良い方向への改革を期待をしたいと思います。

また、6月25日、日本柔道整復師会館にて日整通常総会が開催され役員改選選挙も行われました。会長はじめ副会長、理事が大きく入れ替わり「呉越同舟」という言葉がありますが、その言葉通り役員全員で信頼回復し難局を乗り越えていただきさらに柔道整復師として生活ができるよう柔整療養費の改正に取り組んでいただきたいと思います。

本会では、大河原会長を支え、理事一丸となって諸問題に取り組んでまいりますので会員の皆様には、より一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

---

---

## 専務理事（総務部長） 山本 光彦



（公社）埼玉県柔道整復師会の専務理事として就任いたしましたことを心から感謝いたします。歴代の専務理事の先生方に比べれば理事3期目の私はあまりに微力です。しかし、新たなステージで会員の皆様のために力を尽くすことができることを誇りに精一杯努める所存です。

厚生労働省の「令和2年衛生報告書例（就業医療関係者）の概況」によれば、就業柔道整復師数は75,786人で施術所数は50,364件となっています。この数字からも分かるように、接骨院・整骨院はすでに飽和状態とも思えますが、今後もさらに増加していくことが予想されます。日本は高齢社会へと移行し、「健康寿命」の延伸が課題となっています。個人契約柔整師との競合の中で、私たち公益社団会員の役割は、地域住民が、病気や怪我なく健康な生活を送ることができるようサポートすることでもあります。柔道整復術を基本としながら、時代と共に変化し、考え方をシフトする必要があります。

柔道整復師としての将来性を追求するためには、スキルアップが欠かせません。時代の流れに沿った知識や技術を学び続けることは、柔道整復師としてのキャリアを歩む上で必要不可欠です。特に地域の医療ニーズに適切に対応できるような支援が重要です。そのためには、学術研修会や介護予防機能訓練講習の充実、専門セミナーの開催など、継続的な学びの場を提供していく必要があります。



現在、我々が直面している状況は生活様式の急激な変化による会員の減少と療養費の減少です。これらは簡単に解決できる問題ではありませんが、マイナ保険証への対応など、まずは業務の効率化が喫緊の課題です。Web会議などでDX化を推進してまいりましたが、さらに変革を進めながら事業の透明性を高め、会員拡大の広報戦略などを展開しなければならないと考えています。

私の最大の使命は、大河原会長を支えることです。大河原会長のご尽力により、(公社)埼玉県柔道整復師会は定額会費の減免などを敢行しながら、コロナ禍にもなんとか耐えることができました。本会の伝統と使命を会員の皆様と協力しながら、より一層の発展を目指します。

最後に、会員の皆様と力を合わせ、一丸となって挑戦し、困難を超え共に成長し、柔道整復師の地位向上に貢献していきましょう。

会員の皆様の信頼に応えるために全力を尽くします。ご支援とご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

---

---

### 常務理事（財務部長） 磯田 和男

会員の皆様には、日頃より本会会務にご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

5月14日定時総会理事選挙におきまして、会員の皆様の多大なるご支援をいただき再任することができました。心より感謝申し上げます。

今年度、常務理事（財務部長）2期目となり、前期の経験を活かし、会員の皆様の大切な会費を適切な予算編成で、費用対効果を精査し、効率的な会運営に努めてまいります。

コロナも、5月8日から5類感染症移行になる中、厳しい状況は続いておりますが、会員の皆様第一に、「受領委任」を守る。「電子請求」に向けてしっかり対策。保険組合・行政機関との関係促進。魅力ある会運営に努める。次世代につなげていくため、全力で取り組んでまいります。

引き続き、会員の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



---

---

### 常務理事（保険部長） 原田 禎久

5月14日に行われました本会総会におきまして、理事として3度目の信任をいただきました。改めて気を引き締め会務に貢献して参ります。今期は保険部長を拝命しましたが「学術と保険」、私共にとって両立しなければならない最も重要な部署であり、更に勉強しながら、努力精進します。柔整療養費の将来が不透明と感じる方が多いと思います。入会間もない会員からベテランまでが同じ思いでいることも理解しています。様々な変化や不安感からの会員減少など本会は正に「内憂外患」ですが、我々は学術を中心として正しい知識と確かな技術を身につけることにより、あらゆる変化に対応で



きると確信しております。療養費審査に携わり数年が経ちますが、こちら側にも相当数の問題があるように感じます。お互いが理解を深め、より良い請求を心がけることこそ斯界が存続出来る絶対条件であります。皆様からのご意見、ご要望を頂戴しながら務めさせていただきます。

よろしくお願ひ申し上げます。

---

---

### 常務理事（事業部長） 増田 泉

このたびの役員選挙において、再度理事に就任させていただき、会員の皆様方のご支援を心より御礼申し上げます。日頃本会の運営に対しまして、ご協力をいただきありがとうございます。

会員目線で、何が会員のために最も大切なものなのか、何をすべきかどう考へべきなのか、理事として考え執行したいと思っております。

事業部としては県民に対し柔道大会、市民公開講座を開催し柔道整復師の信頼回復と地位向上を目指し、会員が安心して施術を行える環境作りをしたいと考えておりますので、何卒ご理解ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



---

---

### 常務理事（学術部長） 清水 芳之

このたび、埼葛支部の推薦をいただき、また会員の皆様の多大なるご支援により定時総会において二期目の理事に就任させていただきました。心から感謝と御礼申し上げます。

今年度より常務理事、学術部長を拝命し改めて職務の重さを感じているところです。さて、コロナ禍が明けて社会全体が急速な変化で進んでおり、我々業界を取り巻く環境も益々厳しさを増しております。今期が業界の将来を左右する重要な二年間ではないかと思ひます。「療養費の適正化」、「受領委任制度」、「オンライン請求」など難題が山積してあり、少しでも前へ進めていかなければなりません。今、この時期を逃がしたら業界のいく末も、柔整師の存続すら危うくなってしまいます。なんとかこの難局を乗り越えるために、あらゆる手段を模索し危機感と覚悟をもって働いてまいりますので、会員の皆様にはより一層のご支援と叱咤激励をお願ひ申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。





---

---

## 常務理事（広報部長） 楠美 明人

会員の皆様には平素より、本会の会務運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度の定時総会役員選挙におきまして、会員の皆様から多大なるご支援、ご信任を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

引き続き広報部長を拝命し、また、保険部も担当することとなり、さらに職責の重大さを実感しているところです。

いま業界全体が厳しい中、色々な課題も山積しています。違法な宣伝広告、営業活動により、我々に対する世間の信頼度は大きく損なわれ、多くの誤解も生じています。

そこで、本会から積極的に正しい情報を発信し、事業を通じて社会的な信用と信頼を得ること、柔道整復師に対する理解度・認知度を上げていくことが重要であると考えております。そのためにも、会員の皆様からの意見が反映されるよう、誠心誠意、努力精進して参ります。

今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



---

---

## 理事（学術担当） 酒井 俊一

この度学術部担当を拝命されました。学術においては、「正確な情報を皆様にお伝えしなくては」と思い、身の引き締まる思いです。しっかり、整形外科論文と照らし合わせて、勉強していきたいと思えます。

私は「原点回帰」を信条としています。本年度も、埼玉整骨接ぎ講座、学術研修会が企画されています。本会には、たくさんの臨床経験をもった先生がおられます。その一端を学生さんや、今後開業を目指す柔道整復師に伝える場所を作れたらと思えます。伝統あるその技術は、じつは、エビデンスがしっかりしていて、新たな発見があり、新鮮でわくわくするような体験ができます。会員の皆様には、お誘い合わせの上、是非ご参加いただき、受講生拡大にご協力いただきたいと思えます。真剣な受講内容ですが、楽しさを大事に、全員体験できる研修会にしていきたいと存じます。この研修会が、柔整の卒後研修の一環として定着できるよう、願っています。

学術・技術の研鑽は、受領委任払い存続、災害時の応急処置、会員の拡大、柔整の信頼回復においても、最も重要なことと思えます。清水学術部長、渡辺副会長講師と共にスタッフで知恵をしばってやってまいります。皆様には、是非、学術部への応援お願いして、新任の挨拶に変えさせていただきます。よろしくお願いいたします。



---

---

## 監事 松井 雄二

本年5月の本会総会の役員改選で多数の会員皆様にご支持を賜り、監事に当選させていただきました。誠にありがとうございます。

監事という役職は会員の皆様を代表し、理事会や重要な会議、諸事業・活動等に参加して本会の業務執行状況、経理及び財産管理、事務局職員執務状況等を大局的かつ多岐にわたり監査する極めて重要な役職と認識しています。今後2年間の任期満了まで忠実に職責を全ういたします。

先人・諸先輩が幾多の困難を乗り越え築いた柔整施術の伝統を護り、本会組織の将来を担う若い会員皆様に少しでもより良い形で引き継げるよう微力ですが貢献できるよう活動いたします。会員皆様のお力添えの程よろしくお願い申し上げます。



---

---

## 監事 吉田 幸作

このたびの定時総会において会員の先生方のご支援をいただき再度監事に当選することができました。心から感謝とお礼を申し上げます。

公益社団の監事の職責は重責ではありますが、2年間の監事職の経験をふまえて公益社団の財産の状況、業務執行の状況を適正に監査し、監事の職責を全うして参る所存です。

会員各位には引き続き埼玉県柔道整復師会の発展のためご支援、ご協力の程、お願い申し上げます。監事就任の挨拶とさせていただきます。



# 相談役・役員・各部 委員会・支部長

(敬称省略)



## 〈相談役〉

前列左から 山本 清次 鈴木 昭壽 渡邊 寛 名誉会長 大河原 会長 宮倉 正 吉本 隆  
後列左から 萩野 副会長 渡辺 副会長 ※三浦 勝男 当日欠席



## 〈役員〉

前列左から 吉田 幸作 (監事) 松井 雄二 (監事) 渡辺 一民 (副会長) 大河原 晃 (会長) 萩野 義之 (副会長)  
山本 光彦 (専務理事)  
後列左から 楠美 明人 (常務理事) 増田 泉 (常務理事) 磯田 和男 (常務理事) 酒井 俊一 (理事)  
清水 芳之 (常務理事) 原田 禎久 (常務理事)





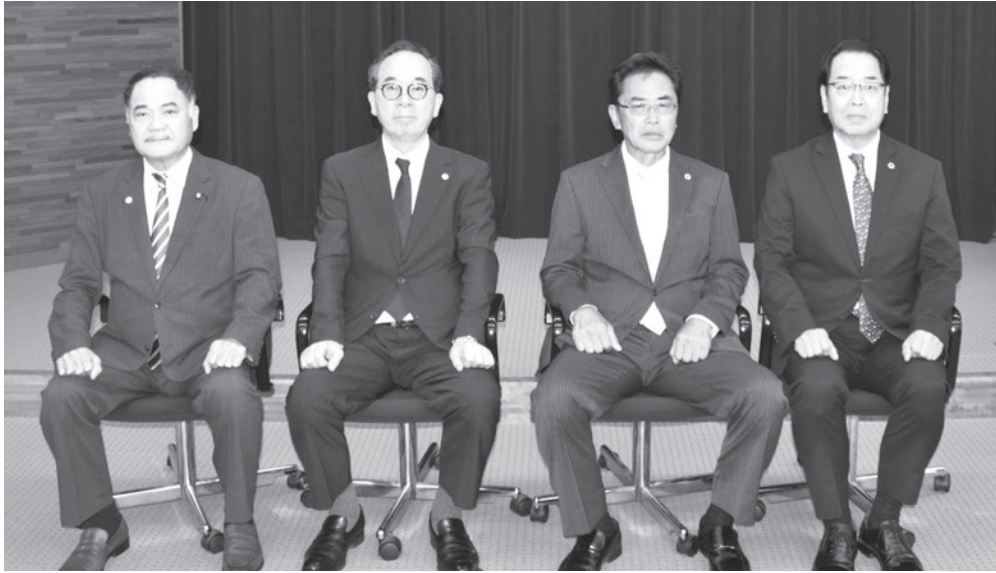
〈支部長〉

前列左から 池田 晃一（大宮） 中村 千明（本庄） 渡辺 副会長 大河原 会長 荻野 副会長 関 保雄（浦和）  
 菊原 英之（朝霞）  
 中列左から 高橋 直己（熊谷） 森永 悠介（川口） 小高 良一（秩父） 島村 和男（西部） 中山 誠一（東部）  
 島崎 信夫（中央） 関口 和博（埼葛）  
 後列左から 新井 道夫（川越） 島崎 孝三（北埼） 増田 憲治（草加八潮） ※柿沼 泰広（東松山）当日欠席



〈総務部〉

前列左から 渡辺 副会長 大河原 会長 荻野副 会長 山本 総務部長  
 後列左から 大野 敏明 塚本 真樹 長谷川 弘幸



〈財務部〉  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 磯田 財務部長



〈保険部〉  
 前列左から  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 原田 保険部長

後列左から  
 武隈 覚正  
 神田 憲孝  
 楠美 担当理事



〈事業部〉  
 前列左から  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 増田 事業部長

後列左から  
 深谷 大介  
 竹津 正純  
 堀内 圭司  
 竹沢 誠





〈学術部〉  
 前列左から  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 清水 学術部長

後列左から  
 酒井 担当理事  
 天津 大輔  
 原田 担当理事



〈広報部〉  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 楠美 広報部長



〈介護委員会〉  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 山本 委員長

※依田 俊一  
 大河原 亮  
 当日欠席





〈災害対策委員会〉

前列左から  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 山本 委員長

後列左から  
 大野 敏明  
 塚本 真樹  
 長谷川 弘幸  
 楠美 明人



〈制度改革委員会〉

前列左から  
 渡辺 副会長  
 大河原 会長  
 荻野 副会長  
 山本 委員長

後列左から  
 清水 芳之  
 原田 禎久

支部名	副支部長			会 計	
浦 和	吉田 健二	関口 英明	河原 匡博	川島 裕雅	橋本 和彦
川 口				金杉 信昭	
大 宮	田辺健一郎	田川 雅也		金森 淳	
川 越	高階 正信	永嶋 良男	薄葉 勉	新井 博海	西山 幸吉
西 部	江川 真史	山川誠一良	友光由美子	土方 信行	山崎 直
東 松 山	関根 弘	坂本 暁	吉田 武	土岐 弘幸	水落 邦雄
秩 父				新井 宏明	
本 庄	中村 定			山本 知宣	
熊 谷	横田 典子	松井 一幸		島田 好一	吉岡 功
北 埼	大野 敏明	斉藤 善生	斉藤 直人	山口 智也	
東 部	樺田 貴司	野本 康弘		金子 裕孝	加藤 忠明
埼 葛	小野塚 理	高山 歳明	田中 淳二	山崎 英典	清水 和裕
朝 霞	島貫 利幸	相澤 良平	塚川 和之	松本 勝	門井 秀樹
中 央	斉藤 俊明	佐藤 真之	小坂橋 好	村田 滋郎	柳沼 雄一
草加八潮	木村 貴之			天津 大輔	

# 新支部長就任あいさつ

## 川越支部長 新井 道夫

この度、令和五年度より川越支部長に就任いたしました新井道夫と申します。

コロナ禍、保険者からの締め付け等により本業界最悪と言われる不景気が続き、我々を取り巻く環境が一変する中、今日まで川越支部の先輩方に築き上げていただいた様々な方面での信用と実績を役員の方のお力をお借りいたしまして、少しでも前に進めていきたいと思う次第でございます。

末尾にあたり埼玉と川越支部の発展、橋渡し等に微力ながら尽力させていただきたいと存じますので皆様のご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 本庄支部長 中村 千明

この度本庄支部長に就任いたしましたと申します。

今までは一支部員として本庄支部の活動に携わってきましたが今回より本庄支部長として活動させていただきます。

今まで女性の支部長は居なかったそうなので選んで頂いた本庄支部の先生方に選任してよかったと思われる様に頑張り、地元支部や各地域支部、本会との連携を取りつつ色々な事に携わってみたいと思います。勉強不足の部分も多々あると思いますが、やる気と元気はありますので、本会会員皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



## 熊谷支部長 高橋 直己

この度、熊谷支部支部長に選出されました高橋直己と申します。

熊谷支部は比較的会員数が多く、また経験豊富な先生方も多い為、就任にあたり身の引き締まる思いです。新任執行部と共に、工夫して運営していきたいと思っております。

さて、先日の委嘱式においても、現在の柔整業界を取り巻く環境は、非常に厳しいとお話がありました。また、コロナ禍の3年間、公益事業や支部内の親睦会も自粛傾向にあり、会員同士の繋がりも希薄になった気がします。コロナは、ひとつの転換期でもあると考えております。ポストコロナでは、社会の変化にも遅れぬよう敏速に対応し、柔道整復術・柔道整復師を地域の方々に正しく認知して頂くと共に、様々な形で提供出来るよう、熊谷支部全員で取組んでいきたいと思っております。

理事・事務局の皆様、ご指導鞭ご撻の程、宜しくお願い申し上げます。



# 令和5年度 定時総会開催のご報告



会長挨拶

令和5年5月14日（日）に埼玉会館に於いて定時総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症法の位置づけが5類に移行したことから、久しぶりに来賓、会員が多数会場を埋める中で開催することができました。

来賓には、埼玉県保険医療部医療政策局長 縄田 敬子様、埼玉県医師会長 金井 忠男様、元衆議院議員 大野 松茂様、衆議院議員三林 裕巳様、参議院議員 古川 俊治様をはじめ、本会顧問、加藤弁護士、吉井公認会計士、相談役の皆様にご出席いただきました。

## 第一号議案（当日出席 45名、書面決議507名／会員数702名） 可決

### 令4年度事業報告及び令和4年度収支決算報告、監査報告承認の件

#### 1) 令和4年度事業報告について

荻野 義之専務理事（総務部長）から詳細なる説明がありました。

#### 2) 令和4年度収支決算報告

磯田 和男常務理事（財務部長）から、収支計算書貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について詳細なる説明がありました。

#### 3) 監査報告

松井 雄二監事、吉田 幸作監事から、諸帳簿は正確に記載されている旨の説明がありました。

## 報告事項

### 令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算の件

荻野 義之専務理事（総務部長）から令和5年度事業計画及び収支予算についての報告がありました。

## 第二号議案 役員選挙について

選挙管理委員会による開票の結果（有効投票数533票、監事 有効投票数499票）過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に以下の者が選任されました。

理事 大河原 晃、荻野 義之、山本 光彦、磯田 和男、増田 泉、清水 芳之、  
原田 禎久、渡辺 一民、楠美 明人、酒井 俊一  
監事 吉田 幸作、松井 雄二



# 第46回埼玉県柔道整復師柔道大会

## 地域の柔道界に活気をもたらす

事業部 増田 泉

埼玉県柔道整復師会主催の第46回公益社団法人埼玉県柔道整復師柔道大会が、令和5年5月28日（日）に深谷ビッグタートルで盛大に開催されました。青少年の健全な育成を目的として、地域の柔道界の発展に取り組むことを心がけており、県内の30道場・クラブから213名の選手が熱い戦いを繰り広げました。

新型コロナウイルス感染症対策として、この大会では観客制限や入場時の検温、手指のアルコール消毒などを実施しました。また、館内ではマスクの着用が任意とされ、感染予防に気をつけるとともに5類への移行に伴い少しずつコロナ対策を緩和していきました。

大会には、柔道連盟会長の中島政司様、深谷市長小島進様、深谷市教育部長の松村一様、協同組合理事長の吉本隆様など、多くの来賓の方々にもご出席いただきました。皆様のご支援により、大会会場はコロナ以前の活気にあふれた雰囲気の中で試合が行われました。

大会の様子は、埼玉県柔道連盟女子振興委員会によって取材され、最新YouTubeで公開される予定です。

また、大会運営には大里郡市柔道連盟の皆様にも、大変献身的にご協力いただきました。郡市柔道連盟の皆様にも心より感謝申し上げます。

形競技会で優勝した選手および、少年少女柔道大会の4年生から6年生までの優勝・準優勝、計5名が、11月19日開催の日整全国柔道大会に出場を予定しています。



会長あいさつ



選手宣誓



団体戦代表者



「形」競技代表者

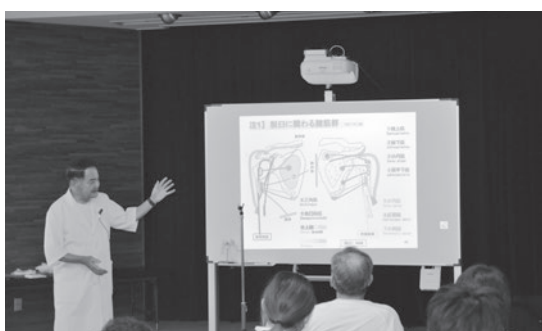
# 埼玉ほねつぎ技術講座Ⅳ「わたなべ塾」報告

学術部 酒井 俊一

令和5年7月2日（日）第四回埼玉ほねつぎ技術講座が開催されました。この度「わたなべ塾」と命名され新たにスタートいたしました。

内容は「肩関節脱臼」です。午前10時より講師である渡辺副会長が作成された渾身のスライドを使い、肩関節周囲の解剖から始まり、肩関節脱臼の種類、発生機転、周囲の損傷、診断、整復法、固定法、多岐にわたる、約2時間半の座学でした。昼休憩をはさみ、午後1時より5つの班に分かれて、約3時間の実技を行いました。各班とも真剣に、しかしながら楽しく行われました。スタッフ、受講者共に、コミュニケーションが十分とれたと思います。

要点は、なるべく関節周囲の損傷を防ぐ無痛整復、習慣性脱臼防止のための固定法、どちらも、しっかりしたエビデンスに基づくものであり、大変勉強になりました。



今回は本会会員16名のほか、日本医学鍼灸柔整専門学校（JMA）の学生14名、引率の先生3名が参加されました。講座の趣旨に賛同された学生14名が本会に準会員として入会されました。

スタッフ、受講者共にすがすがしい気持ちで、閉講となりました。

次回は、再び「肩関節脱臼」を題材に、11月12日（日）学術研修会のあとに開催予定です。より多くの参加者を望みます。会員の皆様にはご協力をお願いし、報告とさせていただきます。

スタッフの皆様、大変お疲れ様でした。



## 令和5年春の褒章 大河原 晃会長 藍綬褒章を受章

令和5年4月29日（土）付けをもって、春の褒章が発令され厚生労働省の関連では120名の方が受章されました。

社会奉仕活動に従事し、顕著な実績のある個人などに授与される「緑綬褒章」が16名10団体、その道一筋に業務に精励し衆民の模範となる方を対象とする「黄綬褒章」が54名、医療・社会福祉などの分野で公衆の利益を興した者、または民生・児童委員などの事務に尽力した方を対象とする「藍綬褒章」が50名です。

本会から大河原 晃会長が、多年保健衛生関係団体の要職にあって斯界の向上に寄与したことが評価され、授与されました。



## 日整最高栄誉賞である『帰一賞』 本会から4名の会員が授与される

令和5年4月20日（日）、公益社団法人日本柔道整復師会理事会において、今年度の『帰一賞』を、本会から会員4名の受賞が決定し、授与されました。

『帰一賞』は、講道館柔道の創始者である嘉納治五郎先生の雅号「帰一斉」と、『整骨新書』の著書であり、江戸時代の整骨医の中で学識人格共に優れた各務文献先生の雅号「帰一堂」の双方に因んで命名され、柔道整復師界の発展に著しく寄与した会員に贈られる日整最高栄誉賞です。表額の帰一の文字は「故嘉納師範の直筆から転写させていただいたものである」と額裏に刻印されています。



### 《帰一功労賞》



西部支部 大河原 晃 会員



東部支部 渡辺 一民 会員

### 《帰一精錬賞》



川越支部 笹田 裕 会員



西部支部 土屋 文夫 会員

## 令和4年度

## 公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰受賞

多年にわたり公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が特に顕著であり模範となる者を表彰する公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰に浦和支部 磯田和男 会員が受賞しました。今回は130名及び9団体が受賞しました。



左 浦和支部 磯田 和男 会員

## 『柔整考学』…その6

専務理事 山本 光彦

蕎麦打ちは難しい。最近、蕎麦好きが高じて自分で蕎麦を打ってみた。某通販サイトで初心者向け蕎麦打ちセットを購入し、ネットで打ち方の基本を調べて挑戦した。初挑戦の結果は惨憺たるもので、蕎麦どころか太いマカロニにしか見えない。敢え無く撃沈した。

蕎麦の歴史は古い。ワシントン大学の塚田松雄教授によれば鳥根県でおよそ1万年前の蕎麦の花粉が見つかっている。埼玉県でも3000年前の花粉が見つかっている。昔は蕎麦の実を茹でて「そばがゆ」として食べていた。その後、製粉技術が伝わり「そばがき」「そば餅」となり、今の蕎麦のように細く長くなったのは江戸時代のことだ。包丁で細く切ったから「蕎麦切り」と言っても「そばがき」と区別していた。当時の蕎麦はそば粉だけ（十割）で打っていたので切れやすかった。そのため蒸籠（せいろ）に蕎麦を盛り、蒸して供されていた。蕎麦屋のお品書きにある「もり蕎麦」や「せいろ蕎麦」はこの名残だそうだ。

江戸では「江戸患い」という病気が流行した。「江戸患い」とは脚気のことで、ビタミンB1が不足することで発症し、末梢神経に障害をきたして下肢が痺れる病気だ。当時は発症原因がわからず、悪化すれば命を落とすこともある奇病だった。玄米に代わり白米を食べる習慣が江戸庶民にも広まり、ビタミン不足から脚気が流行した。脚気は蕎麦（ビタミンB1を多く含む）を食べることで防止できることを漢方医は知っていたので、江戸中期以降は脚気を予防するために蕎麦が流行したという説もある。

脚気といえば打腱器で膝蓋腱をポンと叩いて反射を診る。初検時にご年配の方に行くと「脚気の検査ですか」と指摘されることが多い。現代は栄養状態が良くなりほとんど聞くこともないが、柔道整復師にとっては脚気よりも末梢神経の障害を診ることに意義がある。

脊髄の重要な機能に反射がある。末梢からの刺激が求心路（知覚神経）を伝い脊髄の反射中枢に達する。すると、その刺激は大脳皮質を介することなく意思とは無関係に遠心路（運動神経）を伝い支配筋を収縮させたり、腺分泌を行う。これを脊髄反射といい、刺激情報の伝導路を反射弓という。膝蓋腱を打腱器で叩くと大腿四頭筋が収縮して下腿部が跳ね上がる膝蓋腱反射は、最も単純な反射弓の例といえる。下肢の痺れを訴えて来院する患者に対して柔道整復師は必ず膝蓋腱反射を診るはずだ。膝蓋腱を叩いても反応が出にくいときは、刺激が上手く伝わっていないので末梢神経や筋肉の障害と考えられる。膝蓋腱を叩いて反応が出やすいときは、伝導路が過敏になっているので脳や脊髄の障害と考えられる。脚気の場合はビタミンB1が不足して末梢神経の調子が悪くなるから反応が出にくくなる。反応が出にくい場合は末梢神経に原因があることが多い反面、脳や脊髄が原因である可能性は低いといえる。柔道整復師は検査機器以外で身体が出しているサインを読み取ることが重要だ。

国家資格者である柔道整復師は社会の負託に応えるために、高度な医学知識の修得と施術の研鑽が欠かせない。腱打ちの修得はできたと思うのだが・・・。

さて、蕎麦打ちは・・・技術の習得は程遠い。とりあえず、細長いマカロニを目指す。

## 老害の人

講談社

内館牧子 著



著者は自身の経験から時代の変化についていけずに固執し、若い世代に対して無理解な態度をとる「老害」たちを描いている。齢を取ると昔の自慢話が多くなる。仕事の武勇伝、孫自慢、趣味自慢、病氣自慢、老害にもいろいろなタイプがあり、「高齢者あるある」が満載だ。高齢者と若者のやり取りの中から、異なる世代に老いていくことへの理解を促してく。特に若者に共感と気づきをもたらし、60代の私には自身の行動を省みる機会となった。年齢は関係なく誰かの役に立つことは生き甲斐であり、活力につながるものだ。

自分は「余人をもって代え難い人間だ」などとは間違っても思うまい。余人などいくらでもいる。「教養」「教育」は「今日用」「今日行く」、自戒を込めつつ実践したい。

## 炭水化物の摂り方・選び方パーフェクト事典

ナツメ社

竹並恵理 著（監修）

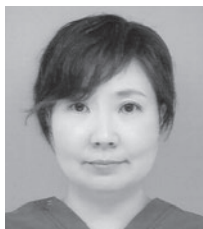


第36回埼整学術講演会で、ご講演いただいた竹並恵理先生が「筋肉をつくる食事・栄養パーフェクト事典」に続く「炭水化物の摂り方・選び方パーフェクト事典」を刊行された。本書は炭水化物の役割や適切な摂取方法について包括的に解説している。専門的な用語や概念をわかりやすく解説し、炭水化物を効果的に選び、摂取するための具体的なガイドラインを示している。また、ボディメイク、生活習慣病予防、体力増強、アンチエイジングなどに関する情報も含まれており、食事プランを作成する手助けともなる。科学的根拠に基づいた情報を提供しながらも、わかりやすさを重視しており、柔道整復師にとって貴重な参考書となること間違いなし！



# 新入会員紹介

(令和4年12月1日～令和5年6月30日入会)



## 浦和支部

古山 純子

〒330-0071  
さいたま市浦和区上木崎2-14-19  
グレドール並木103  
TEL 048-767-6682  
(趣味特技)  
手芸・スノーボード



## 西部支部

武井 瑞木

〒358-0024  
入間市久保稲荷2-12-22  
稲荷ビル1-B  
TEL 04-2964-5001  
(趣味特技)  
テニス



## 本庄支部

荒井 麻記子

〒367-0053  
本庄市中央2-6-19  
TEL 080-6918-2268  
(趣味特技)  
人狼系ゲーム



## 西部支部

木川 佳則

〒350-1253  
日高市台376-1  
TEL 042-982-2013  
(趣味特技)  
読書



## 中央支部

小沼 将悟

〒329-0131  
鴻巣市袋123-5  
TEL 048-548-1838  
(趣味特技)  
ボルダリング



## 東部支部

平井 純

〒343-0022  
越谷市東大沢5-1-27  
TEL 048-971-8629  
(趣味特技)  
野球観戦



## 浦和支部

酒井 恒輝

〒330-0071  
さいたま市浦和区上木崎2-14-19  
グレドール並木103  
TEL 048-767-6682  
(趣味特技)  
スノーボード



## 埼玉支部

金子 哲也

〒345-0801  
南埼玉郡宮代町百間2-2-22  
TEL 0480-32-0422  
(趣味特技)  
サッカー・マンガ



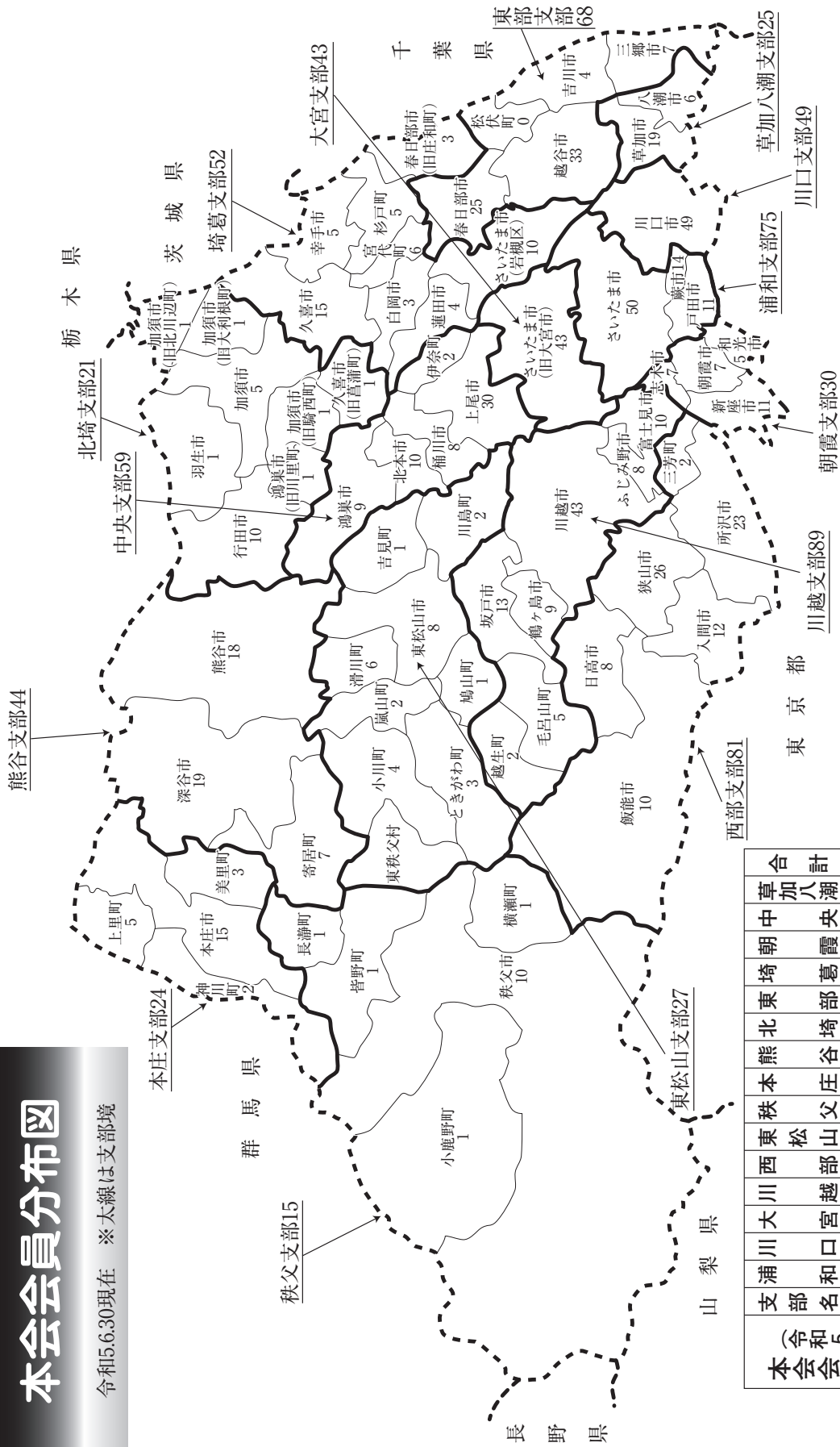
## 大宮支部

久保 友吾

〒330-0852  
さいたま市大宮区大成町三丁目455  
アイリス大宮参番館103  
TEL 048-729-8951  
(趣味特技)  
サウナ

# 本会員分布図

令和5.6.30現在 ※太線は支部境



支部名	会員数	準会員
浦和	七五	
川口	四九	
大宮	四三	
川越	八九	
西栗部	八一	
松山	二七	
東松	一五	
秩父	二四	
本庄	二四	
熊谷	四四	
北栗部	二二	
東栗部	六八	
朝霞	三〇	
中央	五九	
草加八潮	二五	
合計	七〇二	三四

(令和5・6・30現在)  
本会員数

## 表紙の説明

### 高麗山 聖天院 勝楽寺の山門（日高市）

真言宗智山派寺院の聖天院（しょうてんいん）は、高麗山勝楽寺と号します。奈良時代に高句麗より渡来した高麗王若光の菩提寺として、侍念僧勝楽上人により751年に創建されました。若光の守護仏聖天尊を本尊とし、爾来600年間法相宗の道場でありましたが、1345年中興秀海上人の代に真言宗に改宗されました。1584年圓真上人により不動尊を本尊とし聖天尊を別壇に配祀し、現在に至っています。江戸時代には高麗郡の本寺として、門末54箇寺を擁するほどの隆盛を誇り「院主の格式は諸侯に準ずる」とも記録されています。



### 『埼玉にある雷門』

1832年（天保3年）に建立された山門は、入母屋造、瓦葺、総檜造、三間一戸の楼門建築であり、左右に風神雷神を配し、上層には大日如来、七観音、十六羅漢像が祀られています。山門にかかる大きな提灯には「雷門」と書かれており、風神雷神門を略して、別名雷門とも呼ばれています。日高市指定文化財になっています。

## 編集後記

今回ご投稿いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

今号では、定時総会、柔道大会、委嘱式、ほねつぎ技術講座など、多くの事業を掲載することができました。ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

2023年6月1日より、本会ホームページの全面リニューアルをいたしました。

今回のリニューアルでは、デザインやページ構成を見直し、新コンテンツの追加も実施しました。また、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応し、各デバイスから閲覧できるように改善しております。

今後も多くの皆様にご利用いただけるよう、内容の充実を図るとともに、わかりやすく・最新の情報を掲載するホームページを目指します。

会員の皆様には、日々仕事への思い、身の回りでのいい話、その他ご投稿をお待ちしております。また、写真撮影が好きな方、誌面に掲載してほしい写真等ございましたら、広報部までお申し出いただけたらと思います。

広報部へのご意見もいただけますと改善の参考とさせていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



## 柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名譽を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

## 柔整倫理綱領について

### 広報部

厚生省（現・厚生労働省）からの指導もあり、日本柔道整復師会及び、全国柔整学校協会の双方の組織から起草委員を選出し、昭和62年（1987）に制定したものです。医の倫理が強く叫ばれ、求められている昨今、会員各位には綱領の意を充分理解し、実践されることを願ってやみません。

## 広報部から

広報誌に掲載する原稿をお待ちしております。

1. 論説、時評、学術、随筆、処世術等をお送り下さい。
2. 執筆にあたってのお願い
  - 1) 原稿はA4版で横書き、Microsoft Wordで作成。  
※手書き原稿を提出される場合、事前にご連絡下さい。
  - 2) 原則として1,200文字以内にまとめる。
  - 3) 写真は2枚まで。(なくてもよい)
3. 引用文献は必ず著者名、著書名、巻頁、発行所を明らかにして下さい。
4. 送付方法  
原稿およびデータを郵送またはメールにて送信ください
5. 送付先

〒331-8681 さいたま市北区宮原町1-166-6

(公社) 埼玉県柔道整復師会 事務局/広報部

E-mail : info@saisetsu.or.jp

次回の締め切り 令和5年11月30日

☆ 締め切り厳守でお願いします ☆



公益社団法人 埼玉県柔道整復師会  
公式 Twitter



@saiseijyudo

<https://twitter.com/saiseijyudo>



公益社団法人 埼玉県柔道整復師会  
ホームページ

埼 整 広 報 No.105

令和5年9月1日発行

発 行 者 大河原 晃

編 集 人 楠 美 明 人

発 行 所 公益社団法人 埼玉県柔道整復師会

〒331-8681 さいたま市北区宮原町1-166-6 電話 048-651-1211(代)

制 作 協 力 望月印刷株式会社

〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 電話 048-840-2111(代)